

第3回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

	議 案 な ど	北 地 範 久	中 野 友 博	豊 川 和 也	山 代 英 資	岡 和 明	小 出 哲 義	末 広 天 佑	藤 川 和 弘	中 川 智 之	小 田 上 尚 典	西 村 一 啓	山 崎 年 一	日 域 究	細 川 雅 子	寺 岡 公 章	審 議 結 果
議案第 34 号	大竹市旅費条例の一部改正について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 35 号	令和 8 年度大竹市一般会計補正予算 (第 1 号)	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 36 号	令和 8 年度大竹市土地造成特別会計 補正予算(第 1 号)	—	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 37 号	議会の委任による市長の専決事項の 指定についての一部改正について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 38 号	工事請負契約の締結について 〔防災行政無線施設(固定系)更新工事〕	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —: 議長 ○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席 棄: 棄権
※: 中野友博議員は 5 月 25 日付で辞職したため、採決には加わりませんでした。



地方財政の充実・強化及び地方公共団体の財政の 自主性・自立性の強化を求める意見書採択の請願

【請願者】大竹市職員労働組合執行委員長 長戸宏樹

要 旨

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化に伴う社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応も求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきました。しかし、物価高騰や資材・労務費の上昇による行政コストの増大、さらには慢性的な人員不足を踏まえると、今後も引き続き一般財源総額の確保が求められます。

2026 年度地方財政計画は、物価高や人件費の増大に対応する内容となっていますが、2027 年度政府予算及び地方財政の検討にあたっては、物価高騰や賃金上昇に伴う行政コストの増大を的確に反映し、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額のさらなる充実が図られる地方財政を実現するよう、以下の事項を求めます。

1. 社会保障の充実、地域活性化、自治体DX化、脱炭素化、物価高騰対策、教育の無償化、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。

他 11 項目

本会議の結果：採択

請願採択に伴い、総理大臣ほか、国の関係機関へ意見書を提出しました。